

2019年7月25日 第3382回

出席報告

● 現在会員	138名
● 出席者	84名
● 欠席者	51名
● 出席免除者欠席	3名
● 今回例会出席率	62.2%

例会修正出席率

7月11日	
● メークアップ	39名
● 欠席者	24名
● 修正出席率	81.3%

●メークアップ 城戸利枝(7/20 地区2019-20年度 第1回グローバル補助金委員会)、長田裕美(7/21 地区青少年交換担当委員長会議)、木瀬雅博(7/21 地区インターアクト夏期研修結団式並びに事前研修会)、藤本潤一(7/27 地区 危機管理委員会)、木村憲一・須賀原和広・清水慶造・清水則明(7/28 地区 RLI パート1) 各 君

ガバナー公式訪問【福井あじさい RC と合同例会】

ガバナー様 御一行とホテル前にて

佐竹 力總
ガバナー森陰 輝夫
ガバナー補佐澤田 明廣
幹事長

会長・幹事・役員懇談会

日時：2019年7月25日 9:30~10:30
会場：ユアーズホテルフクイ 特別室

佐竹力總ガバナー御一行様3名と福井クラブ会長、副会長、幹事、副幹事の7名にて懇談会を行い、クラブ運営の方向性についてアドバイスをいただきました。

乾杯の挨拶
宮崎 茂和パストガバナー

♪手に手つないで♪

パナー贈呈

福井 RAC
岩崎 茜会長

ガバナーアドレス



佐竹 力總 ガバナー

2019-20年度・第2650地区のガバナーを拝命しております京都ロータリークラブ所属の佐竹力總と申します。

本日は記念すべき令和最初の年度のガバナーを仰せつかったことと、来年70周年を迎えられる福井ロータリークラブ、そして20周年を迎えられる福井あじさいロータリークラブとの合同例会にてガバナーアドレスをさせていただきます事を楽しんでいます。

また本日は森陰ガバナー補佐・澤田地区幹事長と一緒にまいりましたので、一年間ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

地区スローガンは「伝統と革新 世界はひとつ」です。
なぜ「世界はひとつ」と申しますとロータリアンは世界に120万人おられますが、スマホひとつでつながる時代です。その中に我々がいるという事です。

“伝統”

私も京都ロータリークラブに33年間在籍させていただきましたので“伝統”に関して、私なりの意見を述べさせていただきます。

大学生時代の4年間（今から50年程前、万博の時）、実家の日本料理店で駐車場のアルバイトをしていたのですが、外車などの高級車が多く、降りてくる方は紳士ばかりでした。そして皆さんは襟元に「金のバッジ」を付けられていて、私に名前だけを言うのではなく「ロータリーの〇〇です」と言われるのです。当時はその様な方々を不思議に思っていたのですが、女将さんから「地位もあり優良な企業、選ばれた人しか入れないクラブの方々です」と教えていただきましたが、漠然と働いていました。その後、父がロータリークラブに入会することになり、息子として大変嬉しく誇りに思っていました。父の入会初年度に500名を超えるクリスマス家族会に家族と参加したのですが、最後に輪になって「手に手つないで」を歌っている時、祖母が今までの仕事を振返ったのか、この場にいられての喜びから感動の涙を流している姿を見

て、私はロータリーに対して“Inspire”し、今日までの原点となっているわけです。その後、青年会議所の活動を終え10年間は仕事に集中しようと考えていましたが、父が65歳になり当時の定款ではシニアになり正会員が空いたことと熱い誘いもありJC卒業後、直ぐにロータリーに入会しました。

京都ロータリークラブについて・・・

今年で94年を迎え日本で5番目のクラブです。今日まで千宗室さんをはじめ12名のガバナーを輩出してきました。直近では10年前に富田謙三さんがガバナーをされ、私はその時の地区幹事長をさせていただきました。

当クラブでは“伝統”として例会を重視しています。1940年から48年の間、第二次世界大戦の影響で日本ロータリーはRIから脱退していましたが、京都ロータリークラブは“例会は企業人の集まり”とし、その間も毎週水曜日に「水曜会」として開催してきました。

また“100%ルール”というものもあり、千宗室さんは65年、堀場雅夫さんは無くなる2週間前まで55年続けていられています。その様な方々が、自ら出席が芳しくない会員に、先輩方の姿や思いを熱心に伝えてこられ、現在の出席率99.5%に繋がっています。この様なことも京都ロータリークラブの興行の深さといえますか“伝統”というものを私は学ばせていただきました。

2016年には規定審議会でクラブの自主性と柔軟性が強調され、職業奉仕と例会を重視する日本のロータリークラブの在り方と、人道的奉仕組織になりつつあるRIの方向性との間に、次第にへだたりが生じていることは否めません。

私はロータリークラブの基本理念は「奉仕と親睦」であり、その根底を支えるものは「職業奉仕」と「例会出席」であると考えます。地域でその業種を代表する人材が、自分の職業を天職と捉え、自身の職業の倫理観を高めつつ、その職業を通じて広く世の中のために奉仕する。この職業奉仕こそが、あらゆる奉仕活動の根源でないかと考えております。そしてロータリーの魅力は例会出席にあります。いろいろな職業の人たちと交流すること、商業人として研鑽を積むこと、それがひいては修養の場となる。この点に尽きると思います。

このような大樹のごとき精神的支柱がなかったら、また単なる慈善事業を行う人道的奉仕の社交団体であったなら、今日までこのように人の心を引きつけ、世紀を超えて発展したでしょうか。

“革新”

革新ということでRIの方向性を述べたいと思います。

◆マーク・ダニエル・マローニー会長のテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」

(ROTARY CONNECTS THE WORLD)

世界：200以上の国 36,005クラブ

525地区 34ゾーン 約120万人

日本：2,261クラブ 34地区 2.5ゾーン 約9万人

2650地区：96クラブ 約4,700名

3つの「つ」「つなぐ」、「つなげる」、「つなげていく」

◆マーク・ダニエル・マローニー会長の強調事項

①ロータリーを成長させること

柔軟性を利用し、特に若い人々の入会を促すために家族との時間、仕事との共有ができる新しいクラブや新しいスタイルのクラブを作る

②ローターアクトターにロータリークラブの未来を担う

ローターアクトクラブのRI加盟を認める

(青少年保護、危機管理の徹底“

例えば発生後72時間以内にガバナーがRIに報告”)

③ポリオ根絶（現在99.9%）を主に国連とのパートナーシップ強化（世界ポリオデー 10月24日）

④「世界を変える行動人」キャンペーンの実施

◆中核的価値観

時代が変化しても、ロータリーで変えてはいけないものが中核的価値観

柔軟性は、あくまでも中核的価値観の範囲内で許されるのです。

- ・親睦（人類に奉仕）
- ・高潔性（倫理観と高い職業水準）
- ・多様性（地域の専門性の集まり）
- ・奉仕（クラブの活動）
- ・リーダーシップ（世界的指導性）

◆ロータリーの新ビジョン声明（2017年6月）

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

◆国際ロータリー（RI）の使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じ、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、善意、平和を希求する世界最大の人道的奉仕団体をめざすことです。

◆My Rotaryの登録促進

目標：会員の60%以上

◆標語：JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION

リーダーとして会員相互の理解を深め、多様性や高潔性などロータリーの理念を学び合い、そして行動しましょう。

来年、東京ロータリーが100周年を迎えます。迎えるにあたり私たちロータリアンも基本理念、魅力といえますかアイデンティティーを考える必要があると思います。

よく言われる、I Serve（私は奉仕する）のロータリーと、We Serve（我々は奉仕する）のライオンズ、との違いなどをぜひ考えていただいて、クラブの魅力づくり・活性化・会員増強に繋げていただけたらと思っています。

また激動する世界に追いつくためには、対応力ではなく適応力を高めていかなくてははいけません。対応とは時代の流れに沿うことで、適応とは不易流行で各クラブの譲れない文化などを守り、他はチェンジしていこうという考えで、福井ロータリークラブ・福井あじさいロータリークラブの皆さん、それぞれの文化を大切に、時代の変化に対応していただきたいと思います。時代に迎合するクラブではなく、時代が必要とするクラブ・時代に合ったクラブをぜひお願いしたい。伝統とは革新の連続です。

またロータリークラブは民主的であり連合体なのです。よくRIがあつて地区ありクラブがあると勘違いされていますが、皆さんのクラブの連合体が地区であり、あくまでもクラブ主体というのがRIの考えですので、今後は各クラブのそれぞれの文化を大切にして活性化されていくことをご祈念申し上げまして私のアドレスとさせていただきます。

福井あじさい RC
田中 義乃会長による閉会点鐘